

2026年6月18日
株式会社インフキュリオン

インフキュリオンの請求書支払いプラットフォーム「Winvoice」がMCPに対応 ～AIエージェントとの対話で請求書カード払いのデータ準備が可能に、経理業務の効率化に向けβ版を提供開始～

株式会社インフキュリオン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長CEO 丸山弘毅、以下「インフキュリオン」）は、請求書支払いプラットフォーム「Winvoice（ウィンボイス）」が請求書カード払いサービスとして国内で初めて（※1）「MCP（Model Context Protocol）」（※2）に対応し、インフキュリオンのグループ会社である株式会社リンク・プロセッシングが展開する「LP請求書カード払い」の利用者を対象に先行してβ版の機能を、2026年6月18日より提供いたします。



Winvoice

請求書カード払いサービスとして国内初※1
MCP (Model Context Protocol) ※2 に対応！

AIエージェントとの対話で経理業務をより効率的に

※1 日本市場を主なサービス対象とする請求書カード払いサービスにおけるMCP対応として初（2026年6月時点、当社調べ）
※2 AIが外部のサービスやシステムを安全に操作するための世界的な標準規格

◆MCP対応の背景

現在のバックオフィス業務におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は、人間がITツールを操作して効率化を図るのが主流でした。しかし、少子高齢化による労働力不足が深刻化する中、人間が操作しなくても業務が自律的に回る「AIエージェント」への期待が急速に高まっています。特に経理・財務分野においては、専門知識を持つ人材の採用が難しいという特有の課題を抱えています。このような状況下で、AIが自ら状況を判断して計画を立て、利用者に代わって最適な金融行動を提案する「自律的金融支援」が大きな注目を集めています。

こうした社会的ニーズを受け、インフキュリオンはこの度、「Winvoice」におけるMCP対応を実現しました。本機能により利用者はAIエージェントとの対話のみで、請求書のアップロードや支払予約の申請、支払状況の確認がスムーズに行えるようになるという業務効率化に加え、クラウド上で稼働する「リモートMCPサーバー」の採用により、利用者に自前のシステム環境を構築することなく、AIにサーバーのURLを設定するだけで利用できるという利便性を実現しています。さらに、共通規格である「MCP」を介することで、利用者のAIエージェントをハブとした他社会計サービス等とのデータ横断利用にも対応できる拡張性を備えています。

インフキュリオンは、MCP対応を皮切りに、AI時代に適合した次世代の決済プラットフォームの提供を通じて、あらゆる産業のFintechパートナーとして、決済・金融機能をさらに強化してまいります。なお、本機能はβ版として、「LP請求書カード

ド払い」の利用者へ先行導入いたします。実務現場における運用実績やフィードバックを基にさらなる利便性向上と機能拡張を進め、順次展開していく予定です。

※1 日本市場を主なサービス対象とする請求書カード払いサービスにおけるMCP対応 として初（2026年6月18日時点、当社調べ）

※2 AIが外部のサービスやシステムを安全に操作するための世界的な標準規格

◆「Winvoice」MCP対応の主な特長



1. AIエージェントとの対話による経理業務の効率化

「Winvoice」を基盤とする請求書カード払いサービスの利用者（中小企業の経営者や経理担当者等）は、使い慣れたMCP対応AIエージェントに「Winvoice」の「リモートMCPサーバー」を連携させることで、「Winvoice」の管理画面を操作することなく、AIエージェントとの対話のみで、請求書のアップロードや支払予約の申請、支払状況の確認といった業務を進められ、入力の手間を大幅に削減します。支払の最終承認は引き続きWinvoiceの画面で利用者が行う設計とし、利便性と金融サービスに求められる安全性を両立しています。

2. 「リモートMCP」により、非エンジニアの一般ユーザーでもAIとの連携が可能に

「Winvoice」が提供するMCP対応は、クラウド上で稼働する「リモートMCPサーバー」の仕組みを採用しています。利用者が自身のパソコンに専用プログラムのダウンロードや、専門的なシステム環境構築を行う必要がないため、中小企業の経営者や経理担当者等、非エンジニアであるユーザーであっても、自身が利用するAIにサーバーのURLを設定するだけで利用を開始できます。

3. 「MCP」を介した他社サービスとの横断連携による拡張性

同じくMCPに対応している他社の会計ソフトや経費精算サービス等を、利用者が自身のAIエージェントをハブとして同時に接続することで、AIエージェントを介した安全なデータの横断利用が技術的に可能になります。

例えば、AIエージェントが、接続された会計サービス等から「未払いの請求書情報」や「現預金残高」等のデータを読み取って可視化し、将来的な資金ショートのリスクを検知した際、不足金額を「Winvoice」の請求書カード払いに切り替えるプランを利用者へ提案する、といった高度なユースケースも、MCPというオープンな共通規格を介することで実現可能となります。

■ 請求書支払いプラットフォーム「Winvoice」の概要

「Winvoice」は、請求書のカード決済等を実現するために必要な業務およびシステムをワンストップで提供する請求書支払いプラットフォームです。「Winvoice」を活用することで、自社の顧客に請求書カード払いのサービスを最短2か月で提供できます。また、「Winvoice」のAPIを活用することで、自社が提供するサービスに、請求書カード払いの機能を組み込むこともでき、独自のUXをつくることも可能です。今後も、あらゆる支払いをよりスムーズにするための機能開発を計画しています。

「Winvoice」サービスページ： <https://infcurion.com/winvoice/>

「Winvoice」資料ダウンロードページ： <https://infcurion.com/winvoice/download/>

■ インフキュリオンについて

インフキュリオンは、社会に最適な決済・金融機能を実装する「あらゆる産業・サービスのFintechパートナー」です。多彩な金融サービスを機能単位で柔軟に利用できるテクノロジーの開発やプラットフォームの提供、キャッシュレス決済事業のコンサルティングを行っています。長年のコンサルティング実績で培った専門性、およびモダンで柔軟な次世代型決済システムを強みとして、BtoCのキャッシュレス決済からBtoBの企業間決済まで、あらゆる決済シーンを網羅する「一気通貫の決済プラットフォーム」を提供しています。

私たちは、お客さまの事業戦略に寄り添い、Fintech戦略の立案から新規金融サービスの創出までを包括的に支援。あらゆるリーディングカンパニーのビジネスを決済・金融を軸に支えることで、社会の課題解決と豊かな顧客体験の実現を目指しています。

会社名：株式会社インフキュリオン

設立：2006年5月1日

代表者：代表取締役社長CEO 丸山弘毅

本社：東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル7F

加盟団体：一般社団法人Fintech協会

一般社団法人キャッシュレス推進協議会

一般社団法人日本資金決済業協会

請求書カード払い協会

URL： <https://infcurion.com/>

※本リリースは発行日現在の情報をもとに作成されたものです。今後、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。

※各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商号、商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インフキュリオン 広報室 Mail：pr@infcurion.com